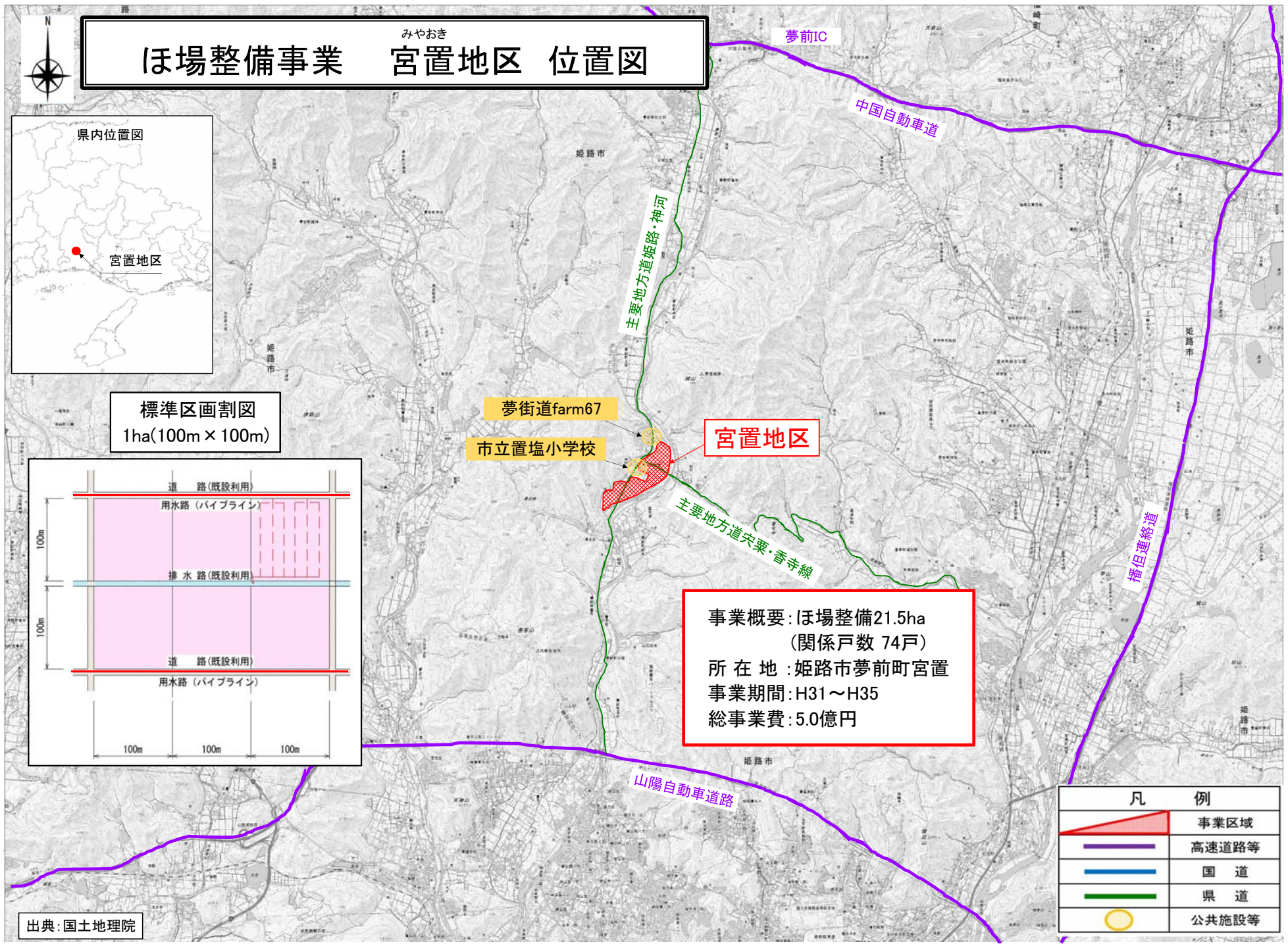
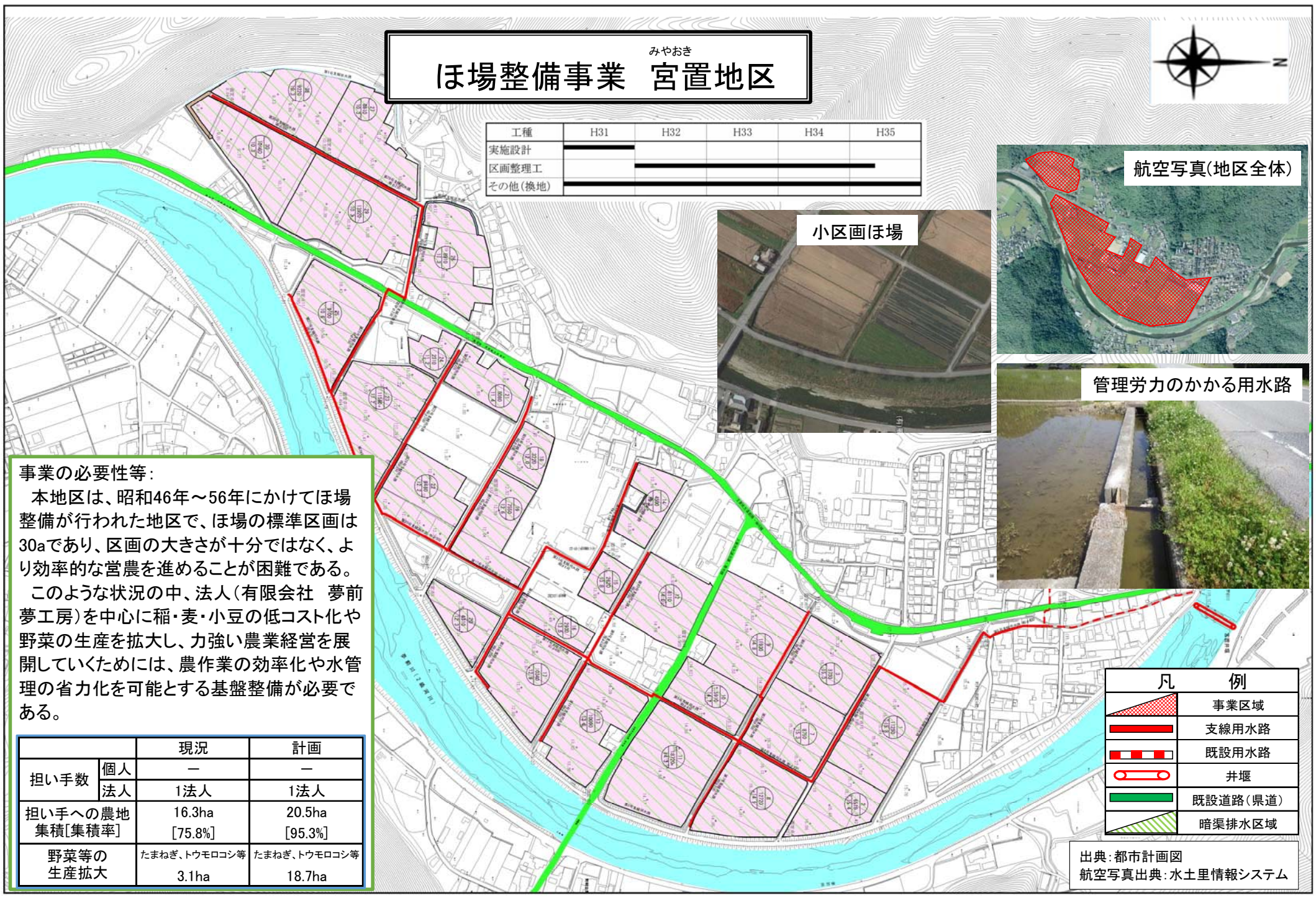
ほ場整備事業　宮置（みやおき）地区　位置図



ほ場整備事業　宮置（みやおき）地区



事業の必要性等：

本地区は、昭和46年～56年にかけてほ場整備が行われた地区で、ほ場の標準区画は30aであり、区画の大きさが十分ではなく、より効率的な営農を進めることが困難である。

このような状況の中、法人（有限会社　夢前夢工房）を中心に稲・麦・小豆の低コスト化や野菜の生産を拡大し、力強い農業経営を展開していくためには、農作業の効率化や水管理の省力化を可能とする基盤整備が必要である。

		現況	計画
担い手数	個人	―	―
	法人	1法人	1法人
担い手への農地集積[集積率]		16.3ha [75.8%]	20.5ha [95.3%]
野菜等の生産拡大		たまねぎ、トウモロコシ等 3.1ha	たまねぎ、トウモロコシ等 18.7ha